

# 磐梯山

## 概況

火山活動は穏やかに経過しました。

- ・火山性地震は少ない状況が続いています。
- ・火山性微動は観測されませんでした。
- ・遠望観測で噴気の高さは30m以下で変化はありませんでした。

## 地震活動の状況

火山性地震は23回観測しました(5月4回)が少ない状況が続いています。

火山性微動はありませんでした。

モホ面付近(深さ30km前後)が震源とみられる低周波地震は、9回観測されました。

モホ面付近の地震と、猪苗代湖北西岸及び磐梯山山頂直下の浅い所の地震活動には関連があると考えられていますが、山頂直下の火山性地震は少ない状況が続いています。

## 噴気活動の状況

遠望観測(監視カメラ)では、山体北側火口壁の噴気の高さは30m以下で変化ありませんでした。

## 地殻変動の状況

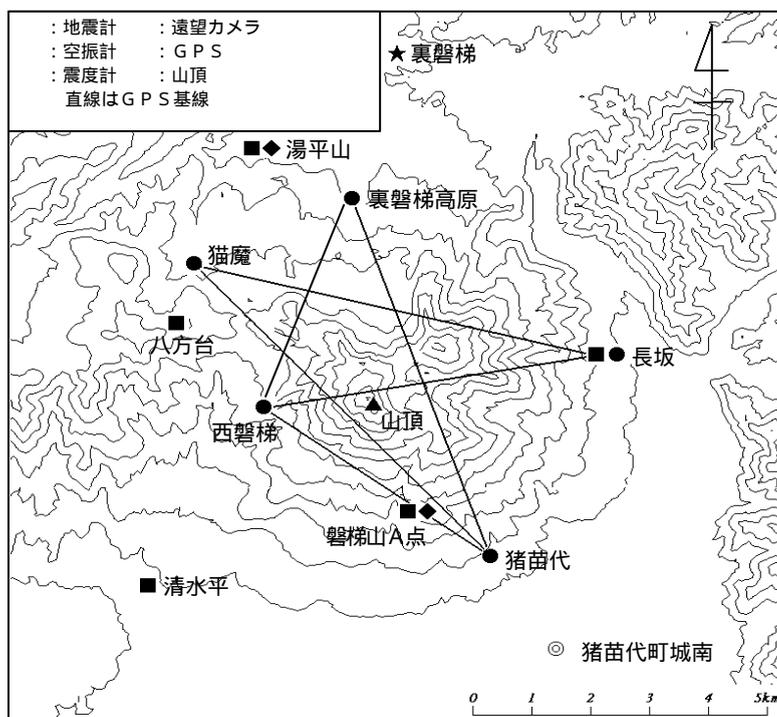
GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化はありませんでした。

## 現地観測の状況

5月31日～6月1日に火口壁噴気、沼の平を中心とした現地観測を実施しました。

赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による地表面温度分布、及びサーミスタ温度計<sup>2)</sup>による噴気地熱地帯の観測を行いました。その結果、引き続き静穏な状況であることが確認されました。

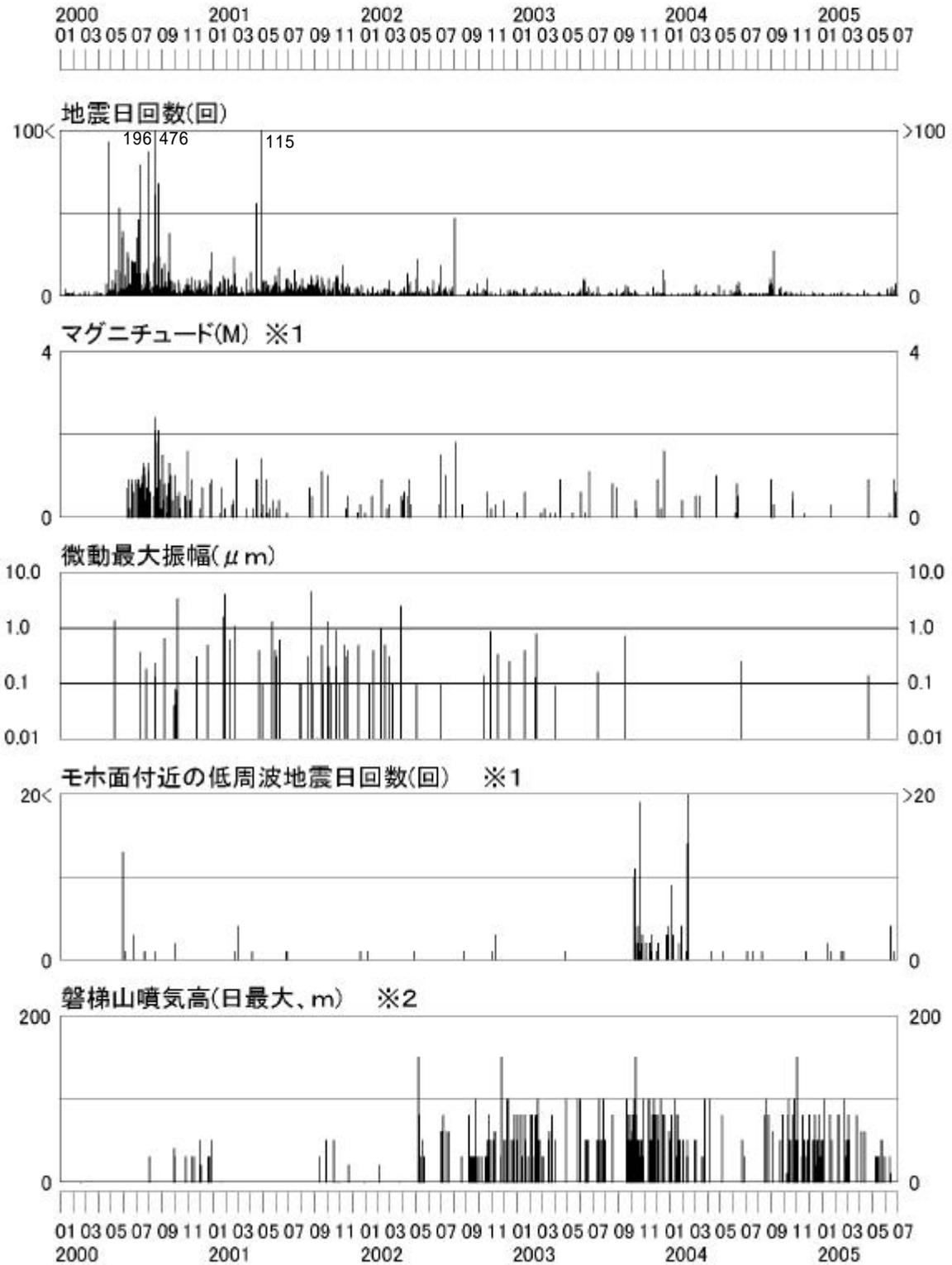
- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。



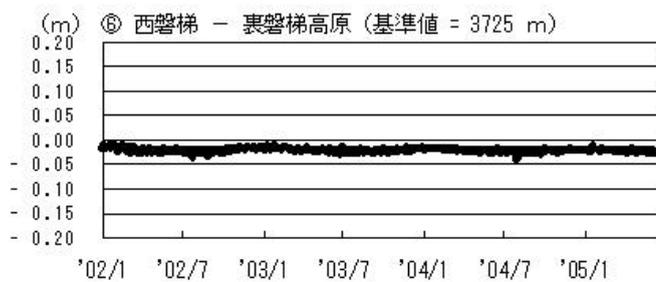
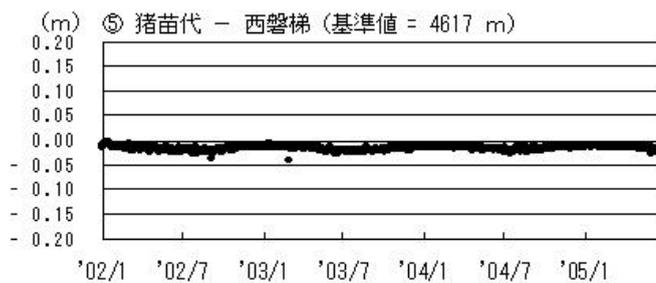
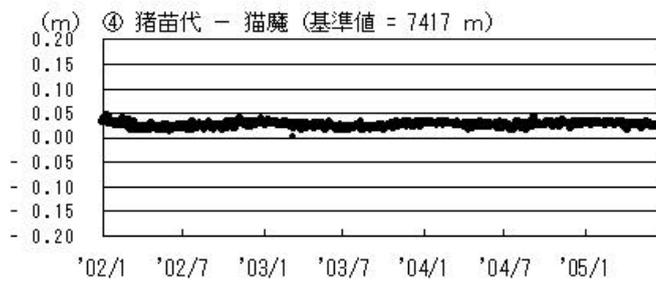
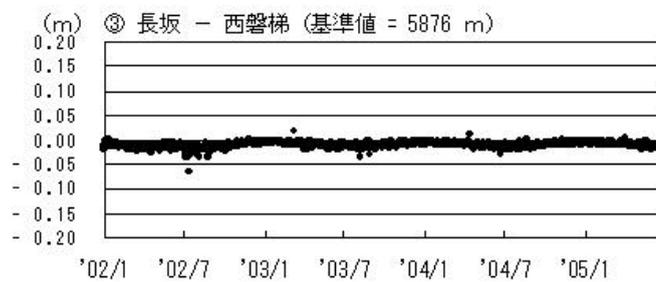
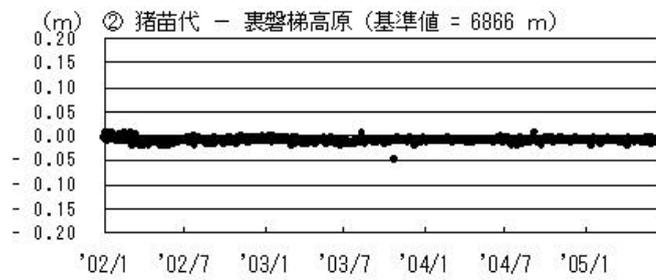
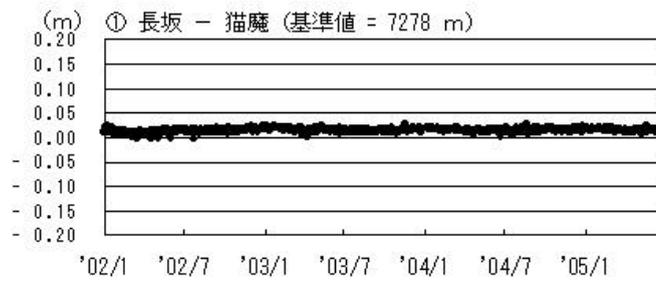
磐梯山火山観測点配置図

# 磐梯山 活動一覧

2000/01/01~2005/06/30



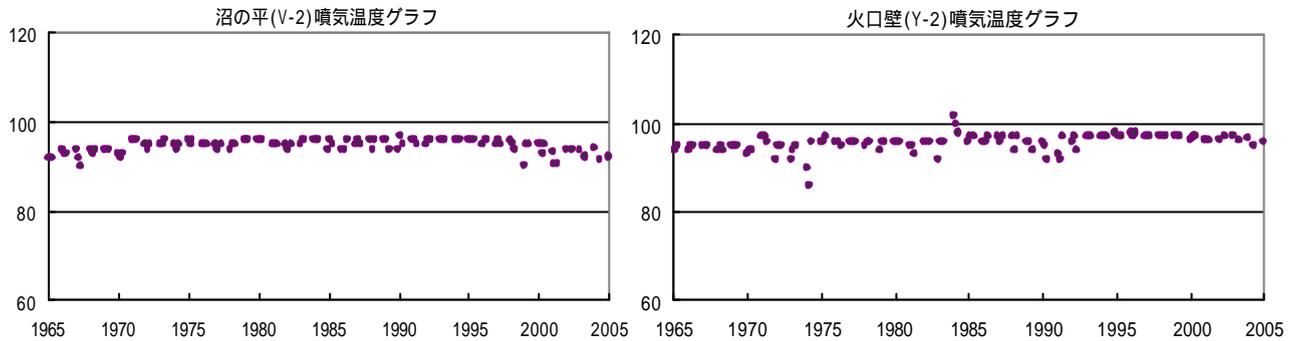
- 1 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- 2 2002年2月以前は定時及び随時観測データ。  
2002年3月以後は収録データにより全時間を精査。



GPS 基線長变化図  
(2002.1 ~ 2005.6)

## 磐梯山火山現地観測報告

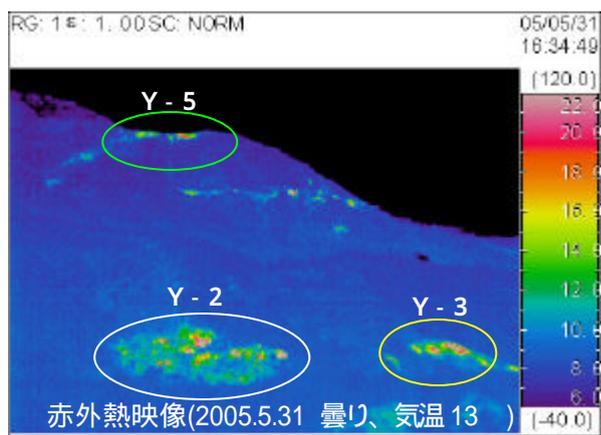
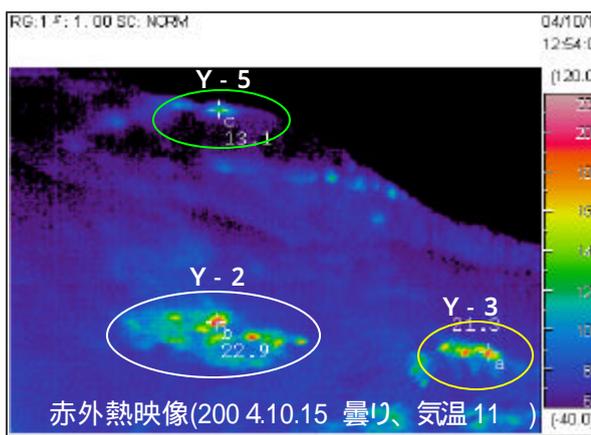
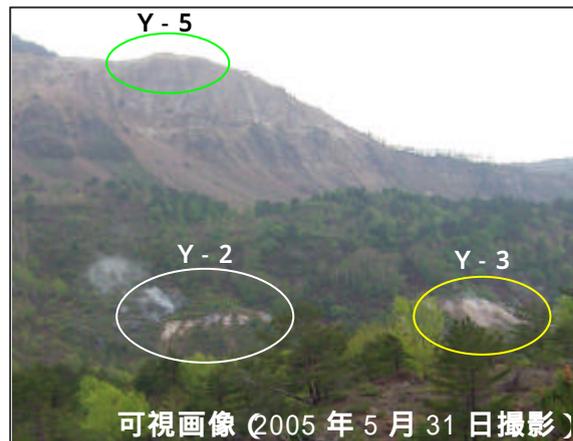
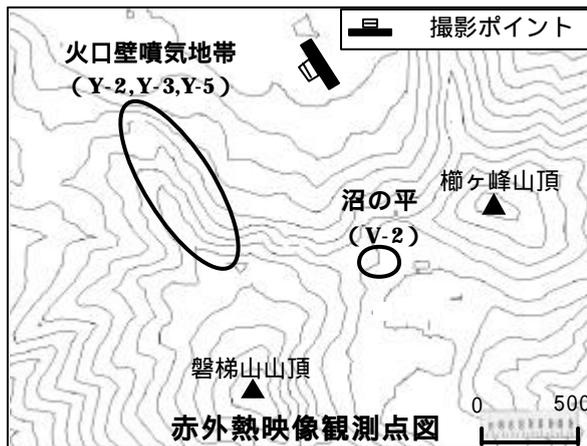
5月31日～6月1日に赤外熱映像装置<sup>1)</sup>、サーミスタ温度計<sup>2)</sup>を使用した現地観測を実施しました。その結果、昨年10月の現地観測結果と比較して噴気・地熱地帯の状況に変化はなく、静穏な状態にあることを確認しました。



沼の平(左:V-2)と火口壁(右:Y-2)の噴気温度変化

(データ期間:1965年7月～2005年6月)

沼の平(V-2)及び火口壁(Y-2)の噴気温度は、1965年7月の観測開始以降、ほぼ一定しています。



火口壁噴気地帯(Y-2,3,5)の可視画像と赤外熱映像<sup>1)</sup>

(左下:昨年10月15日、右下:今年5月31日)

1)赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。  
2)サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。